

令和元年度の活動

◆河川の状況調査◆



水質調査（岐阜市生活学校）

- 各流域で違いがあったが、一時期と比べると河川も濁りがなくならなかであった。（金生町生活学校）
- いろいろな水生生物に出会えました。（可児市めだかの楽校）
- 指標ではきれいな川だった。きれいな水に住む生き物がたくさんいて良かった。（天神川を考える会）
- 水はきれい、ごみもほとんどなく清々しい（各務原市生活学校）
- 水質良好とみたが、河川工事中のため、下石川下流と土岐川の合流点では汚水であった。（土岐市女性連絡協議会）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- 調理くずを出さないよう、食材を余すことなく活用。（羽島中央生活学校ほか）
- 三角コーナーや水切りネットの設置・使用（金山町生活学校ほか）
- コンポストや生ごみを肥料として活用（土岐市生活学校ほか）
- 3Rクッキング料理実習で実践（岐阜市生活学校）

○食用油は流さず適正に処理する。（必須）

- キッチンペーパーや新聞紙にしみこませたり、油を固める薬を使用した（岐阜市生活学校ほか）
- リサイクルやろうそく作り（広幡地域女性の会）
- 廃油せっけんを作った（大垣市生活学校ほか）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- キッチンスクレーパーを使用した。（土岐市女性連絡協議会ほか）
- 使用済みのティッシュを利用したり、ふき取り用の布を準備しておいた（四葉の会）
- 野菜くずや紙で拭き取る。（養老町生活と環境を考える会）

○米のとぎ汁をそのまま流さない（任意）

- ・無洗米を使用する（岐阜市生活学校）
- ・雑巾がけに使ったり、庭にまく（可児市生活学校）
- ・花・庭木の水やりを利用した（稲津公民館お兄さんお姉さんとお勉強の部屋ほか）

○台所の洗剤は適量使用する（任意）

- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（美濃加茂市生活学校ほか）
- ・アクリルたわしを使用した。（各務原市生活学校ほか）
- ・お湯でなるべく洗い、洗剤は最小限とした（中津川市生活学校）

<洗濯>

○洗濯洗剤を適量使用する（任意）

- ・合成界面活性剤の少ない洗剤を使用する。（広幡地域女性の会ほか）
- ・まとめ洗いをする。（大垣市生活学校）

○洗濯・その他

- ・風呂の残り湯を再利用した（土岐市女性連絡協議会）
- ・手洗い（大垣市生活学校）

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする（任意）

- ・手で泡立てて使う（金生町生活学校）
- ・顔、手、足のみ洗剤使用（岐阜市生活学校）

○風呂場・その他

- ・残り湯を洗濯に利用している。（可児市めだかの楽校ほか）
- ・大きめに作ったアクリルたわしで風呂場掃除をした（各務原市生活学校）

◆普及啓発活動◆

- ・会員を対象とした水環境学習会を不二文化センターにおいて開催し、河川の水質や水の循環などについて学んだ。学習した内容は、家族や知人・友人に対して啓発した。（羽島市中央生活学校）
- ・環境フェスタで展示を行い、啓発活動をした。（可児市めだかの楽校）
- ・地元公民館にて、年2回普及活動を行った。（論田川を美しくする会）
- ・イベント2回参加、ワークショップを2回行い、パンフレットと廃油石鹸の試供品を手渡しし、啓発活動（各務原市生活学校）
- ・北方西小の児童と一緒に川の清掃を行った。（北川町婦人会）
- ・小畑公民館まつりで「使い捨てプラスチックを減らそう」、笠郷公民館まつりで「使い捨てプラスチックと合成界面活性剤について」を出向いて呼びかけ（養老町生活と環境を考える会）
- ・環境フェアにて呼びかけを行った。（美濃加茂市生活学校）
- ・環境フェスタにてパンフレット等を配布した。（可児市生活学校）
- ・県から配布されるパンフレット及び岐阜環境ネットワークの冊子を展示配布し、啓発活動を実施した。（土岐市生活学校）
- ・市環境フェアに参加し、200名ほどの人たちに廃油石鹸、アクリルたわしをPRした。（恵那市生活学校）